

遊文舎に若い刺激を。 今年もインターンシップ生を お迎えしました

8月25日から9月5日まで
2人の優秀な学生をお迎えしました。
遊文舎にとっても、
学生さんにとっても
良い刺激になりました。



2週間で得た多くの刺激ときっかけ
技術だけではなく、人として
成長できたと感じました

大阪教育大学
教育学部 3 回生

逸見 優さん

大阪府立大学
現代システム科学域 3 回生

杉本 葵さん

一人ひとりが役割を果たして、
初めて一つの仕事が完成する
プロの現場のお仕事に
感動しました

私は2週間の中で制作、製版、営業、印刷製本の各フロアでそれぞれ体験、あるいは見学をさせていただきました。お忙しい中、大まかなながらもすべての現場をこの目でみせていただきました。作り出されたものが商品として完成するまでを順を追って見ることができ、さらに営業が受注してきた仕事制作の現場に入るところ、完成品が世に出る瞬間まで見ることができました。当初の目的以上にたくさんの勉強をさせていただいて、毎日がとても楽しかったです。

各担当の方がそれぞれ異なる責任をもっている異なった視点で、しかしはっきりとコンセプトを持って働いていらっしゃる姿がとても印象的でした。印刷業に関する知識から仕事観、人生観まで、たくさんのお話を伺うことができました。そのどれもが興味深いもので、話してくださる方もみなさんいきいきしていらっしゃるの、働くこと自体に今までに無いプラスの印象を持つことができました。

人間として勉強になった点もちろん多いのですが、技術・知識面での不足を思い知ることもできました。制作ペースもそうですが、何よりセンスの基盤になるもののインプットが圧倒的に足りないことを思い知らされました。

今回のインターンシップで得たのはたくさんの“きっかけ”だと感じておりますので、これから残り少なくなりつつある学生の時間を無駄にせず、この機会に頂いたきっかけを掘り下げる勉強をしていきたいと思っております。

さらに、ここで得たきっかけと、前進するエネルギーを作り手と受け手にお裾分けしてこそ私のモットーが果たされる大きな一歩となると考えております。

今回の経験を存分に活かして、どんどん周りの人間を巻き込んで活動していきたいです。

2週間という間で名刺・名札の制作やWeb制作、営業同行をさせていただきました。

Webの制作ではデザインされたページを実際にコーディングしていき、ログインして意見を投稿する掲示板を作りました。最初は自分にできるのかという不安がありましたが、とてもわかりやすく教えていただいて勉強になりました。また、レスポンスデザインを初めて制作するのいい経験になりました。掲示板の制作では身近な機能を作ることひとつでもたくさん考えなければならないことがありましたが、それを1つ1つ知っていくことが楽しかったです。

たくさん身についたことはあっても、最後まですんなりできるようになるということはありませんでした。でもプロの方はすぐに何がどう違うかを教えてくださったり、ヒントをくれたりして、知識量、仕事の速さが全然違うことを実感しました。

営業同行では初めて外に出て実際に名刺を交換したり、打ち合わせをされているのを見学しました。営業はお客様からの要望を会社に持ち帰って担当の人に伝え、また訂正されたものをお客さんに持っていく……そういったことを、納得いくまで繰り返してようやく1冊の本ができるということを知りました。それぞれが一生懸命に役割を果たして1つのものが出来上がっていくということに感動しました。会議ではホームページのデザインについて話し合ったり、すぐスールの改善案を提案させていただいて人前で話すことに緊張しましたが、いい経験になりました。

2週間という間でたくさんのことを経験させていただき、充実した日々を過ごせました。今回の経験を生かして今後のことを考えていきたいと思います。

NEWS LETTER
遊文通信

2014年10月発行

VOL.

41



株式会社 遊文舎

[大阪本社]
〒532-0012
大阪市淀川区木川東4丁目17-31
TEL: 06-6304-9325(代)
FAX: 06-6304-4995

[東京営業所]
〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目29-10
TEL: 03-5802-3815
FAX: 03-5802-3816

<http://www.yubun.co.jp/>
E-mail info@yubun.co.jp

「Kimono…、はまってます」第2弾です。前は夏物で、今回は冬物です。

冬物の着物は正装用以外、既成品が多いです。しか～しっ、長襦袢①だけは仕立てました（柄が気に入って購入）。②おめでたい柄の長羽織。これにつける飾り紐も前回紹介した飯田氏作。羽織の下に少し見えているのは黒×臙脂の地に笹と雀の帯。③寒～い日は和装用のロングコートに洋装用のアームカバー、手袋。普段から愛用しているファーを首にくるくる～。冬場はなかなかの重量級。④カスタードクリーム色の正絹でうさぎ模様の染めの帯。手描きの1点もの、と聞いてついつい衝動買い。⑤黒地に枝垂れの花柄、八掛が水色で水玉なのがお気に入り。⑥茶系の縦縞に藤の花の着物に黒地の帯を合わせます。

【着物の下に着る長襦袢】

これは自分にあわせて仕立てるのがお勧めです。着物が既成品でも、着つけやすくなりますし、着くずれ度がグッとさがります。ほとんど外からは見えませんが、袂（袖）や裾からちらり…。人によりこだわりがみられます。一番外に見えている着物より、見え隠れする長襦袢に「お洒落」を感じます。

【草履】

⑦しましま、渋いゴールドのオモテに型押しがしてあるのが気に入って購入。その日に着る着物によって、履物をセレクトします。

【小物】

⑧帯板⑨枕⑩伊達帯⑪腰紐。これらは外からは全く見えませんが、柄が気に入って購入。⑫半襟・⑬帯揚げも季節によっていろいろ。⑫は葡萄、ワインのボトルやグラスの刺繍が施された半襟。「いったい何に使うの？」という感じですよ（笑）。その他、洋装用のブローチ、革の鞆やかごバッグ、手袋やファー。普段使っているモノがいろいろ使えたりしますよ～。

私にとって「Kimono」は、『民族衣装』というより、洋服と同じで、ファッションの一つです。それではこれにて。ありがとうございました。

(Machikanewani)



編集後記

今月は、2週間遊文舎にお招きした2人のインターンシップ生を紹介しました。私が大学生の頃は夏休みといえばバイトと部活にあけくれていました。遊びたい盛りの夏休みにインターンシップを選択するだけで尊敬します。手本となるような社会人を見せることができたかどうかは分かりませんが、遊文舎で“お仕事”を見ることが少しでもお二人のお役にたてたら幸いです。裏面でも紹介していますが、遊文舎ブログ“傍目八目”を社員全員で再始動しました。秋の夜長に、お楽しみくださいませ。（みやまい）

全員ブログで行こう!!

～遊文舎ブログ 傍目八目～

<https://plus.google.com/+YubunCoJp/posts>

おかめはちもく
大阪印刷人の傍目八目
遊文舎社員のブログ

いつも遊文舎の社員によるブログ“傍目八目”をご覧いただいているみなさん、ありがとうございます。いつも優れた？ブロガーたちが様々日々感じたことや疑問に思うこと、紹介したい情報などを楽しく綴っておりますが、このたび他の社員からも「俺も！私も！わいも！うちも！Meも…あなたも！」と多くの声があがり、なんと社員全員がブロガーになりました。折角見ていただくのならより面白く、ためになる情報をお届けできるよう今までよりもさらにパワーアップしたブログにしたいと思います。コメントやご意見などもどしどしお寄せいただけるとうれしいです！まだご覧になられていない方もよろしければ遊びがてら一度覗きにきてやってください。

夏も終わりすっかり過ごしやすくなった今日この頃…お昼の休憩やまた秋の夜長に一杯やりながらでも…。遊文舎ブログ“傍目八目”を今後とも宜しくお願いします。